

國家圖書館編

東亞同文書院 中國調查手稿叢刊

124

國家圖書館出版社

六月四日

六月三日



國家圖書館
編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

124

國家圖書館出版社

第一二四冊目錄

昭和四年（一九二九）調查報告（第二十六期生）

北滿に於ける藥材

北滿的藥材

松花江沿岸都會調查

松花江沿岸城市調查

上海に於ける海產物貿易狀況

上海的海產貿易狀況

上海ヲ中心とする學生運動

以上海爲中心の學生運動

鳥山勉 第八十三卷 一

田島清三郎 第八十四卷 六三

久保務 第八十五卷 一六三

曾根喜久男 第八十六卷 三五五

上海公設市場（虹口市場ヲ中心トシテ）

上海公設市場（以虹口市場爲中心）

波多江健兒 第八十七卷 …………… 三九三

最近上海貿易概況

近來上海的貿易概況

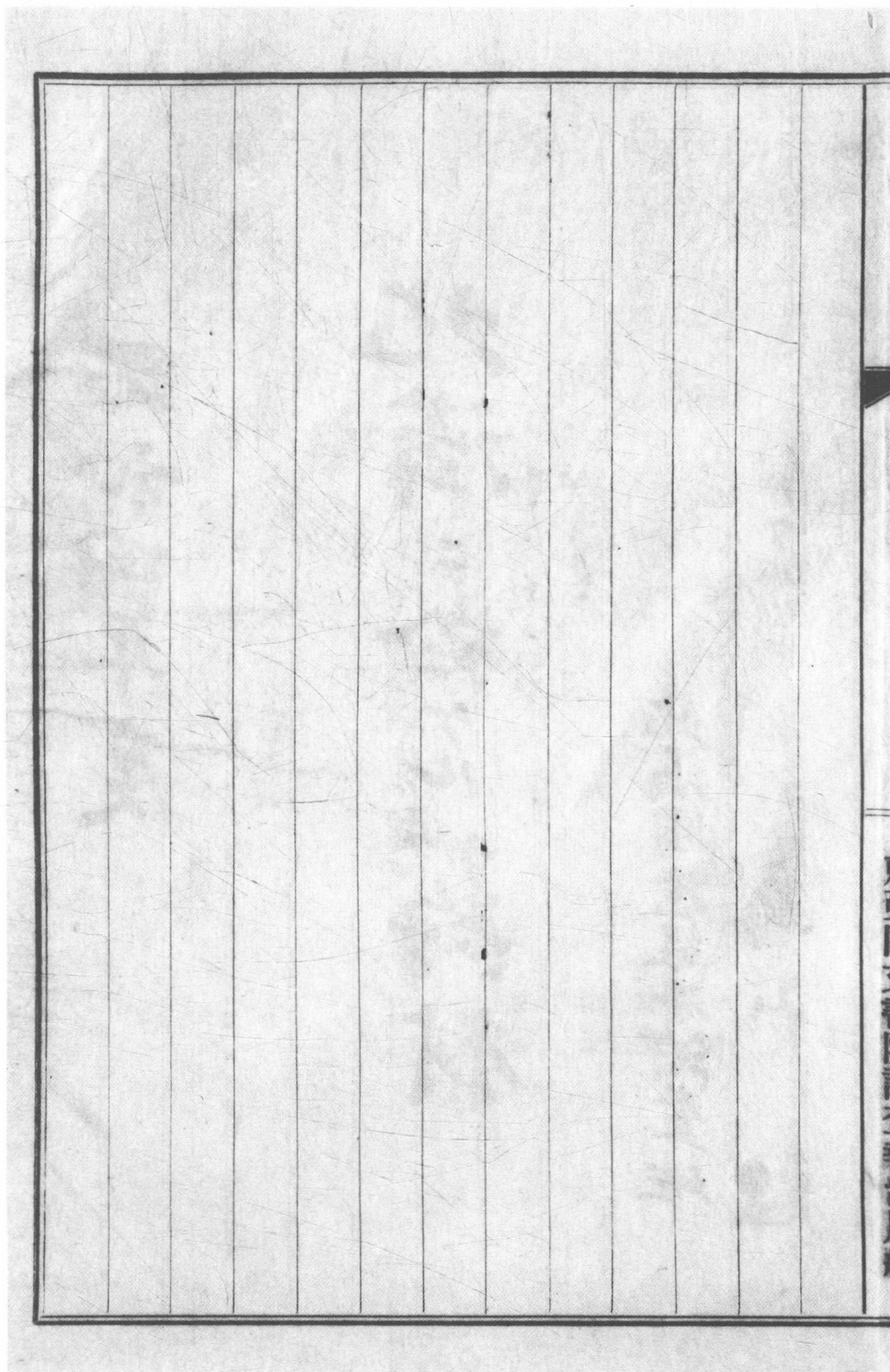
今村三郎 第八十八卷 …………… 四五三

昭和四年度

北滿ニ於ケル
药材

北滿國境經濟調査班

烏山勉



北滿一帯ノ藥材

目次

第一章緒

三〇

頁

一

第二章北滿及豫東ニ於ケル藥材

二

(四三種)

第三章各地重要藥材集散地ニ於テ

二九

ケル集集状況及シテ他

第四章鄭家屯ニ於ケル藥材集散地ニ於テ

數量
二九

第五章甘草

三二

第六章麻黃

三七

第七章滿洲里ニ於ケル特殊藥材

三七

第八章タルハカン及馴鹿南

第九章吉林省ニ於ケル藥材

三九

才一類 產地

三九

才二類 種類及用途

四一

才三類 產額

四四

才四類 取引方法、その他

四六

才五類 相場

才六類 販路

才七類 税金、公費

第二章

北滿及シベリヤ(極東露西亞)ニ於ケル藥材
 北滿及シベリヤ地方ニ産スル天然藥材ハ、其ノ土地ノ性質上極東露
 亞ニ産スルモノト畧々同一ナル。極東露亞領ニ於テハ數多ノ天然
 藥材ヲ有スルト稱セラル。ソビエト政府ハ一般農民ニ其ノ採
 取ヲ獎勵シ、其ノ賣買ヲ或ハコレクターニ依リ收買セラル。

(一) 葛蒲根 *Phlegmaria calami* 天南星科

其ノ根莖ヲ採集シ外皮ヲ剥ギ取り通常ハ縦ニ割リ乾
 燥ス。褐色ノ外皮ヲ被レルモノハ葉ニ用ヒズ、葉湯ヲ立テル。

形狀 根ハ長サ廿cm、太サ十五cm位ノ褐色ノ根莖ヲ左扁セラル

テ稍硬、櫛内形、特異ノ芳香性ヲ有シ、其ノ香ノ苦味ガアル。

成分 揮發油 2% アコリン *Acornin* ナル一種ノ配糖体、カニン

Calamin シヨリン *Cholin* 等、アルカロイドを含有

ス。

之甲 芳香性、健胃藥トシテ消化不良、驅風ニ用フ。

尙傳染病、腺病等ニ藥湯科トシテ用ヒラル。

(四) 覆盆 一基瓦拾五錢(精製品) 九錢(粗品)。

(三) アニース実 微形科 古果ヲ主要產地、他遠、スペイン、仏國

伊不利、但日本ニハ産セズ。

熟シタル果実ニシテ長サ五耗、広サニ十五——ニ三耗、卵円形

ヲ爲ス。外面ハ灰色又ハ類褐色、單細胞性、甚ダ短イ剛毛ヲ

被フ。

成分 揮發油(アニス油、六パーセント、他脂肪及砂糖)

衣中 興奮劑、驅風劑。アニス油ノ製造ニ用ヒラシ、又催乳用

トシテ内服セラル。

(三) ヒヨス暮、茄科、植物

欧州各地、東部ニ多ク産ス、花ヲ帶ガルニ多年草ヲ採集ス。

乾燥ス、初多ハハ卑ナル短茎ヲ出シ、ニ子目ニハ高サ一米以上
トメル。

新鮮ナルヒヨス葉ハ麻醉性ノ臭氣ヲ有シ、味ハ微カニ苦ク
辛辣ナリ。

主要ナル成分ハ *Hyoscyamine*、その他多量ノ硝石ヲ含有
ス、灰分ハセハパーセント以上。

葉ヲ帶花時ニ採集シ乾燥セシメ、アプス或ハ油劑トス。

鎮痛劑ニ用ヒラシ、ヒヨスアプスヲ製セラシムル、又散瞳藥、

後下劑、含劑、又ハ氣管支炎ニ甲ヒ、肛門藥ニ用ヒラシムル。

(四) 續草根 敗醬科。日本ニ於テハカコ草ノ根ヲ採集ス。

ニテ根ト共ニ乾燥セルモノ、日本ニ於テハ仙公、神奈川、地ノカニ

産ス、但シ欧州產ノ約三分一位ノ大キサニアリ。

根ハ褐色光沢アリ、特異ノ臭氣ヲ發ス。

成分 比量經キ 鐵草油ニシテ テレピンノ外 龍腦ト同負異性体
アル液体 及び 結晶性ノ アルコール類ノ 鐵草酸ヨリ 成ル。

ヒステリーノ 舞蹈病ノ 鎮靜ニ 甲ヒラル。

(五) 曼陀羅葉 朝鮮 アサガノ 類、茄科ノ 植物ノ 葉ヨリ

取ル 帶花ハ 珠集ニ 乾燥セルモノ。

暗綠色ヲモシ、全作トシテ 広卵形 又ハ 長卵形ヲ為ス

成分 *C₁₇H₂₃NO₃* テ外ニ 小量ノ *Cholepin* ヲ含有ス。

乙 鎮靜劑トシテ 甲ヒラシ、喘息ニ 効セラル。

丙 ウエルバスクム花 玄參科、欧州 アジア 及 アフリカノ 北部ニ 産ス

ニ 草デ 初メニ 生ジタル 莖ニ 葉ノ 中央ヨリ 裂テ 半 夏期ニ

至リテ 高キ 莖ヲ 生ジ、花ハ 晴天ノ 日 朝早ヨリ 採取セシ

黄白色ノ 根色セヌ 根注ニ 乾燥ニテ 濕氣 及 日光ヲ

免ル 瘰癧リ 鮮ルヲ 要ス。スラザレバ 福安ニ 特異ニ 芳香

性シス。

成シカボニシ極ノ物質ト揮發油ノ痕跡トシ含有シ、その他
含水炭素、脂肪色素ト成シトスル。

和胸劑ノ一成分ニシテ粘滑藥トシテ便用ナル。

(4) 苧苧麻葉 苧苧麻科植物 灌木又ハ高木トシ、ニシテ葉

ハ多ハ細胞石 *Cylindric* ナ有ス。高サ、ニミ尺トシテ葉ニ

レゲ、有リ。蛇王母、風癩ニ効有リト云フ。

(5) フラングラー皮 樹木科ノ植物、歐亞各地、アフリカ、北

中、央、アジヤニ多量ニ産ス。高サ六米ニ至ル灌木。幹ヨリ火藥

ニ用フル不炭ヲ製スル政至ル知ニ移植ナレタ。

幹皮ノ厚サ、二ミ、皮ヲ剥離木ニテナク、トモ一ヶ月貯ヘ置

キタルモノ、テナク、ハ不可。新鮮ナルモノハ内服スレバ、

カノ嘔吐ヲ誘起スル。

即チ外皮ハ白サリ、ニ種ヲ認マス。長サ三十種位、管状ニ卷曲シタル皮質デ外面ハ紫灰褐色、種トイヒ難由、皮中ニハ石核細胞ノ多キ事ハ特徴ス可キ事デアル。

成分、水ニ木溶解ノエモゲンクリソファン、フライングリン及溶解性ノフライングラ酸ヨリ成ル。

緩下劑ニシテ用サルモ新鮮ナルモノハ効力強シト過ギ、白同以上ノ野ヘシ女要トスル。

(九) 菩提樹花

菩提樹科 甲、乙ニ種類アリ。

甲 *Ficus Alniifolia* ハ欧州及小アジアニ産シ、秋ニハ之ヲ菩提樹ト稱ス。葉ハ下面淡色、側脈ノ分岐處大ニ紅色ノ毛クモタケ花本ハ上方ニ向ヒ擬卵形ヲめシ、葉正裏白色ノ花ヲ附ク。

乙 *Ficus platyphyllos ceyloni* ハ欧州南部産知ミテハ、夏ノ末ニ菩提樹ト云フ。甲ヨリ二週了位早く花ヲ咲ク。花本ハ

葉、脆ヨリ出テ下向ニ花ヲ付ケ、其色暗暗色ナリト、
成分揮蒸油、痕跡、粘液、蠟、砂糖、鞣酸、灰分、一
定、矯正、殺汗劑ニ用ヒラル。

(十) 石松子

Lycopodium 毒植物、芽胞。

傳、伏セル茎カラ直立性ノ枝ヲ出シ、其ノ先ニ二ヶ又ハ三四個
ノ穂ヲ着ケテ居ル故、他ノ石松屬ト區別シカ。產地ハ露西亞
秋邊、瑞西、日本ノ石松(ヒカゲ、カウ)ハ其ノ變種デアル、
成分、鹽ル夥多ノ脂肪ヲ含有シテ居ル約五ナパーセント。
多量ノ丸藥衣ニ用テ、痲痺劑ニ散布藥トシテ又振盪合劑
トシテ膀胱カタルニ用テ。

石松子購入ニ必要ナル試験(顕微鏡)

(一) 莖及葉、碎片、其ノ形狀ニ依リ知りカ。

(二) 松樹ノ花粉、左右兩側ニ孔を穿テ具ハス。

(三) 凝粉特異、形状ヨリ差異し得

(四) 硫黄、藍煙ヲ放ケテ燃ス

(五) 石膏炭酸石灰、クホルフォルムヲ加エテ振盪スルニ空白底ニ
沈降シ石松子ハ浮バ

カ

(十一) サホナリヤ、根 石竹科、植物、

カホニ草、根ヲ乾燥シ微毒、腺腫、月病、及皮膚ニ病等ニ用フ。

成スハ *Sedum album* ナル配種作テアル

(十二) 刺蝟石、胸甲類ニ属スル、ザリガニノ胃ノ両側ニ母才ニ

粒ヲ新生スル石灰質ナリ。

ザリガニハ解虫類ノ一種コシテ、本サ一寸乃至三寸許リノ作、形解虫ニ

似タシキ、サ一対ハ特殊ニ発達セル眼ヲ有シ、後方ニ退行スル

性アリ、サハ鰓ニ類ス、胃ノ内面ニハ咀嚙用ノ石灰質石灰ノ穴。